

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 06-113788

(43)Date of publication of application : 26.04.1994

(51)Int.Cl.

A23L 1/27

A23G 3/00

A23G 9/04

B44C 1/16

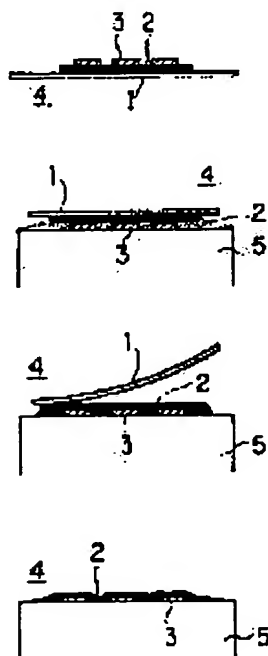
(21)Application number : 04-285356

(71)Applicant : TOP FOODS KK

(22)Date of filing : 30.09.1992

(72)Inventor : YOSHIMURA CHIKAHITO
NAKAYA EITARO

**(54) TRANSFER SHEET FOR TRANSFERRING LETTER AND PICTURE
DRAWN ON WATER-SOLUBLE EDIBLE FILM TO FOOD AND METHOD
FOR TRANSFERRING THE SAME**



(57)Abstract:

PURPOSE: To transfer a letter and picture drawn on a water-soluble edible film to a food such as ice cream, ice, etc.

CONSTITUTION: The method for transferring the letter or picture to the food comprises coating a plastic film with a devil's tongue paste diluted with water by a screen printing method, a roll coater, etc., to form an approximately 1-3 μ thick devil's tongue paste coating film, drawing a picture or letter on the devil's tongue coating film with an edible ink, adhering the formed picture coating film to the surface of a food such as layer cheese cake or ice cream, freezing the adhered product, and subsequently peeling off the plastic film from the frozen product to transfer the water-soluble edible film and the picture coating film to the surface of the food.

LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

27.09.1999

[Date of sending the examiner's decision of

06.11.2001

BEST AVAILABLE COPY

rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

BEST AVAILABLE COPY

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平6-113788

(43) 公開日 平成6年(1994)4月26日

(51) Int.Cl. ⁵	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
A 2 3 L	1/27			
A 2 3 G	3/00			
	9/04			
B 4 4 C	1/16	9134-3K		

審査請求 未請求 請求項の数2(全3頁)

(21) 出願番号 特願平4-285356

(22) 出願日 平成4年(1992)9月30日

(71) 出願人 592222330

トップ・フーズ株式会社

茨城県久慈郡大子町頃藤4202-1

(72) 発明者 吉村 近人

茨城県久慈郡里美村大中1655

(72) 発明者 仲谷 栄太郎

埼玉県浦和市大門2716

(74) 代理人 弁理士 中山 正義

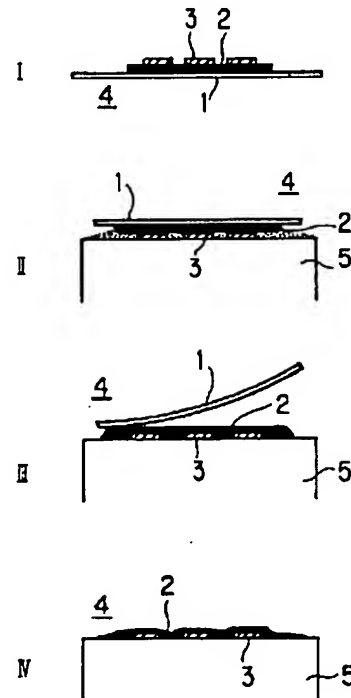
(54) 【発明の名称】 水溶性可食フィルムに描かれた文字や絵を食品に転写
及びその転写方法

する転写シート

(57) 【要約】 (修正有)

【目的】 アイスクリーム等の食品や氷等の表面に、水溶性可食フィルムに描かれた文字や絵を転写する。

【構成】 プラスチックフィルムの上に水等の液で溶いたコンニャク糊をスクリーン印刷又はロールコート等で厚さ1 μ ~3 μ 程度のコンニャク糊被膜を作り、このコンニャク糊被膜の上に可食インキを用いて絵又は文字を描いて絵画被膜を作る。この被膜をレアチーズケーキ、アイスクリーム等の食品の表面に密着させて凍結し、凍結後プラスチックフィルムを剥すことによって食品の表面に水溶性可食フィルムと絵画被膜とを転写する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 プラスチックフィルムの上にコンニャク粉を水等の液で溶いて作ったコンニャク糊をスクリーン印刷又はロールコート等で厚さ1 μ ～3 μ 程度の水溶性可食フィルムをつくり、このプラスチックフィルム上の水溶性可食フィルムの上に可食インキを用いて絵又は文字を描いて絵画被膜を有する転写シートを作り、この転写シートの絵画被膜をレアチーズケーキ、アイスクリーム等の食品の表面に密着させて転写シートと食品とを凍結し、凍結後食品からプラスチックフィルムを剥すこと

によって食品の表面に水溶性可食フィルムと絵画被膜とを転写することを特徴とする水溶性可食フィルムに描かれた文字や絵を食品に転写する転写方法。

【請求項2】 プラスチックフィルムと、このプラスチックフィルムの上に水等の液で溶いたコンニャク糊をスクリーン印刷又はロールコート等で設けた厚さ1 μ ～3 μ 程度の水溶性可食フィルムと、この水溶性可食フィルムの上に可食インキを用いて絵又は文字を描いた絵画被膜とからなることを特徴とする転写シート。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 この発明は、レアチーズケーキ、アイスクリーム等の食品や氷り等の表面に、水溶性可食フィルムに描かれた文字や絵を食品に転写する転写シート及びその転写方法に関する。

【0002】

【従来の技術】 コンニャク粉と水とを1対40～80の割合にしたものをミキサー等で均等に混合して可食インキを作る工程と、このミキシング工程で製造された可食インキを平坦なポリカーボネイト板等の剥離させることができる板上にスクリーン印刷法によって印刷したのち、乾燥させる作業を少なくとも一回以上行なって薄肉の可食シートを形成する可食シート形成工程と、少なくともコンニャク粉と水とを1対40～80の割合にしたものに所定量の食用着色料を入れミキサー等で均等に混合して着色可食インキを作る着色ミキシング工程と、この着色ミキシング工程で製造された着色可食インキで前記可食シート形成工程で形成された可食シートにスクリーン印刷法によって文字や模様等を印刷した後、乾燥させて文字や模様等が印刷された可食シートを形成する印刷を有する可食シート形成工程と、この印刷を有する可食シート形成工程後に板より印刷を有する可食シートを剥離させる工程とで製造した可食シートを用いて食品を包装したり、食品の外周部をコーティングするものの特開平4-27354号公報に開示した。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 この、従来の可食シートの上に可食インキで文字や絵を印刷したものは、プラスチックフィルムから可食フィルムを剥がす取り扱いを容易くするために可食フィルムを厚くするためにコンニ

ャクフィルム自体にクラックや亀裂が入り易く、製造工程、保存、及び食品に添着する場合に手間がかかる等の欠点があった。

【0004】

【課題を解決するための手段】 本発明の水溶性可食フィルムに描かれた文字や絵を食品に転写する転写方法は、プラスチックフィルムの上に水等の液で溶いたコンニャク糊をスクリーン印刷又はロールコート等で厚さ1 μ ～3 μ 程度のコンニャク糊被膜を作り、このコンニャク糊被膜の上に可食インキを用いて絵又は文字を描いて絵画被膜を作る。この絵画被膜をレアチーズケーキ、アイスクリーム等の食品の表面に密着させて凍結し、凍結後プラスチックフィルムを剥すことによって食品の表面に水溶性可食フィルムと絵画被膜とを転写するのである。しかして、食品に文字や絵画を転写することが出来る本発明の転写シートは、プラスチックフィルムと、このプラスチックフィルムの上に水等の液で溶いたコンニャク糊をスクリーン印刷又はロールコート等で設けた厚さ1 μ ～3 μ 程度の水溶性可食フィルムと、この水溶性可食フィルムの上に可食インキを用いて絵又は文字を描いた絵画被膜と、からなることを特徴とするものである。

【0005】

【実施例】 この発明を例示した図にもとずいて説明する。厚さ50 μ ～100 μ 程度のポリエチレン等のプラスチックフィルム1の上に、コンニャク粉と水等の液を1対40～80の割合にしたものをミキサー等で均等に混合するなどして溶いたコンニャク糊を、スクリーン印刷又はロールコート等で厚さ1 μ ～3 μ 程度のコンニャク糊被膜による水溶性可食フィルム2を作り、この水溶性可食フィルム2の上に、少なくとも、コンニャク粉と水とを1対40～80の割合にしたものに所定量の食用着色料を入れミキサー等で均等に混合して作った着色可食インキを用いて厚さ5 μ ～10 μ 程度の絵又は文字を描いた絵画被膜3とからなる転写シート4を作る。そして、この転写シート4をレアチーズケーキ、アイスクリーム等の食品5の表面に絵画被膜3が密着するようにに被い、これを冷凍庫に入れて凍結し、凍結後この薄いプラスチックフィルム1を剥すことによって、水溶性可食フィルム2と水溶性可食フィルム2に描かれた文字や絵を食品5の上に転写する。

【0006】 このように、食品5に水溶性可食フィルム2、絵画被膜3を転写することが出来るのは、コンニャクには吸水性があるから、コンニャクを原料として作った水溶性可食フィルム2と絵画被膜3は、食品と共に凍結させると、凍結した時点ではレアチーズケーキ、アイスクリーム等の食品5の表面との密着力がプラスチックフィルム1と水溶性可食フィルム2との密着より強くすることが出来るから、水溶性可食フィルム2と絵画被膜3とを食品5に残してプラスチックフィルム1だけを剥すことが出来る現象である。

【0007】

【発明の効果】本発明によれば、従来の可食シートの上に可食インキで文字や絵を印刷したものはスチックフィルムから可食フィルムを剥がす取り扱いを容易にするために可食フィルムを厚く（4～5ミクロン）するためにコンニャクフィルム自体にクラックや亀裂が入りやすく、製造工程、保存、及び食品に添着する場合に手間がかかる等の欠点を除いて、水的、軟的食品に文字や絵をたやすく転写することが出来るようになった。しかも、この方法によれば、容器に入れた水の上にプラスチック

も絵や文字を自在に転写することが可能であるといった卓越した効果をも奏するものである。

【図面の簡単な説明】

【図1】この発明の水溶性可食フィルムに描かれた文字や絵を食品に転写するシート及びその転写方法を示す図である。

【符号の説明】

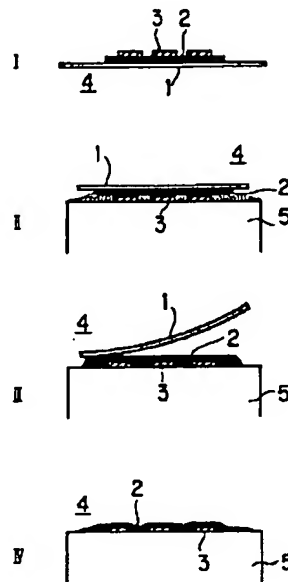
1～プラスチックフィルム

2～水溶性可食フィルム

3～絵画被膜

5～食品

【図1】



BEST AVAILABLE COPY